

・短い言葉でゆっくりと具体的に何をしたらよいか教えてあげる。

・ゆっくり喋る。一つずつ理解してもらおう。研修を受けて、障がい者の方に話しかけやすくなった。

等々の感想をいただきました。

これからも一人でも多くの方に、障がいのある人の理解を深められるように「啓発キャラバン隊YO～おこし」の活動を続けていきます。

**障害者理解を全国に広めるための  
啓発キャラバン隊 オンライン研修会が開催されました**  
副理事長 中島 由紀子

令和4年10月12日に全国育成会連合会啓発キャラバン隊研修会が、兵庫県たつの市の会場と全国の育成会をオンラインでつないで行われました。たつの市はいまや100を超える啓発キャラバン隊の先駆的存在である「ピース&ピース」が組織された地で、代表のたつの市手をつなぐ育成会矢野会長は全国を飛び回って「知的障害疑似体験」を広めておられます。

初めに久保会長が「キャラバン隊は地域の人に障がいの特性を知ってもらい困りごとのある人に寄り添うことで、共生社会の実現に結びつく活動として広がっていくことを願っています」と挨拶され、続いて山形県「花笠ほーぷ隊」のお二人が軽快なトークで「こうやって広めました・つながりました」について話題提供をされました。啓発隊のメンバー獲得の方法として、合理的配慮について無視できない職業の人を“一本釣りで狙う”ことにより、育成会の会員だけでなく社協や市役所の職員さん・支援学校の先生も活動に参加するようになり、その人を通じて活動場所を広げることもできたそうです。次のシンポジウムは「教えて！地元の役所や学校とどうやってつながったらいいの？」をテーマに、たつの市立小宅小学校長山田氏、たつの市人権教育推進課長津島氏、たつの市地域福祉課中島氏が登壇されました。それぞれの立場で「ピース&ピース」矢野会長と出会い、周囲の人に知的障がいをもっと理解してもらおう活動の重要性を実感されて、「人とつながることが笑顔で暮らせる街作りにつながっていくのではないかと述べられました。

午後からは「広島あび隊」による、小学校を対象にした疑似体験の実演がありました。「何を言われているかわからない」「言いたいことがわかってもらえない」知的障がい児・者の気持ちを体験してもらうもので、低学年に行う際は障がいという言葉は使わない配

慮をしていることも説明されました。最後はオンライン参加者を小グループに分け、行っている啓発活動の現状を話し合って閉会となりました。

「今回の研修会が、地元の役所や学校とのつながり方を模索している参加の皆さんのヒントになってくれたらと思う」と矢野会長がおっしゃっていましたが、大阪市育成会の啓発隊「YO～おこし」も活動場所を広げるにはどこにアプローチすればいいのか話合っています。11月末には行政書士の方々に障がい特性の理解について、疑似体験も交えて講演を行う準備をしているところです。

**大阪市育成会会員だより**

《12月 支部連絡会について》  
※会場の都合（改修工事のため）により、参集では開催しません。

但し、YouTubeで配信します。

《令和5年 1月 支部連絡会について》  
※会場の都合により時間と場所を変更して開催します

- ・日時：1月19日（木）10：30～
- ・場所：たかつガーデン 地下1階 オリーブの間

《訃報》  
去る、9月17日（土）に難波支援学校支部の福田 啓子様がお逝去されました。  
慎んでお悔やみ申しあげ、ご冥福をお祈りいたします。

**活動報告（10月16日から11月15日まで）**

活動日	内容
10/16	スポーツフェスタ2022大阪 (大阪市港スポーツセンター)
	全スポ大阪市選手団結団式・壮行会 (大阪市長居障がい者スポーツセンター)
10/17	エル・チャレンジ組合員会議 (エル・チャレンジ)
10/23	第61回近畿知的障がい者福祉大会 (奈良県社会福祉総合センター)
10/29～ 10/31	全国障害者スポーツ大会 (栃木県)
11/1	大阪市教育庁懇談会 (府福祉情報コミュニケーションセンター)
11/10	エル・チャレンジスタッフ連絡会 (エル・チャレンジ)